

子宮収縮抑制剤の新生児への影響調査・検討の調査対象者の皆様へ
過去のデータの調査研究への使用のお願い

当院では日本周産期・新生児医学会ならびに全国の周産期医療施設と共同で、下記の研究を行っております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名	子宮収縮抑制剤の新生児への影響調査・検討
研究責任者	群馬県立小児医療センター新生児科 丸山憲一
共同研究機関	日本周産期・新生児医学会および全国の周産期医療施設 (約 300 施設)
本研究の目的	硫酸マグネシウムあるいはリトドリン塩酸塩で切迫早産の治療を受けた母体から出生した新生児での、高カリウム血症および低血糖症の発生状況の調査
研究期間	2017年9月1日～2018年3月31日
研究の方法	<p>■対象</p> <p>2014年の日本産科婦人科学会の周産期登録事業に登録された在胎 32週0日～36週6日で出生した新生児</p> <p>■利用する情報</p> <p>2014年に日本産科婦人科学会の周産期登録事業に登録された在胎 32週0日～36週6日で出生した新生児の在胎週数、出生体重、性別、複産の場合の胎児数など</p>
試料/情報の他研究機関への提供	共同で研究している日本周産期・新生児医学会への情報提供以外、他の機関への試料・情報の提供はない
個人情報の取扱い	利用する情報から個人を直接特定できる情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表する予定ですが、その際も個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
本研究の資金源 (利益相反)	一般社団法人日本周産期・新生児医学会の研究費で行っており、特定の企業・団体からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。
問い合わせ先	〒377-8577 群馬県渋川市北橋町下箱田779 群馬県立小児医療センター新生児科 丸山憲一 TEL 0279-52-3551 FAX 0279-52-2045 E-mail: maruken@gcmc.pref.gunma.jp